



西洋ハーブ ペパーミントオイルが効く IBS改善薬 コルペルミン®

第2類医薬品

2026年8月に 第2類に移行見込み

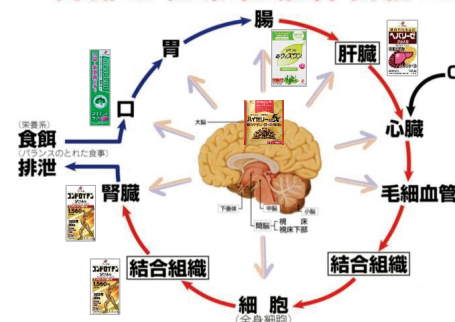
ゼリア新薬工業株式会社

自然治癒力を高める天然由来成分

ゼリア新薬の由来

ゼリア新薬の社名は「ゼリアトリックス (Geriatrics: 老年医学)」に由来します。安全性が高い、じっくりと効いてくる、年をとった身体にも優しい...そんな製品をお届けしたいという想いが社名には込められています。
今から約65年前、1955年(昭和30年)頃、抗生物質など合成薬の全盛時代に、ゼリア新薬は「自然治癒力・ホメオスタシス(恒常性維持機能)」に目をつけ、**抵抗力を増して治療するには生化学的製品(天然由来成分)**が大切になってくると考えました。

代謝と恒常性維持機能(自然治癒力) (生体防衛力)



ゼリア新薬 = **天然由来成分**で、**根本治療**を目指す

ゼリア新薬 × 西洋ハーブ医薬品

2014年発売
PMS(月経前症候群)治療薬
プレフェミン



2021年12月発売
足のむくみ改善薬
ベルフェミン



2022年3月発売
IBS(過敏性腸症候群)改善薬
コルペルミン



2026年8月に移行見込み



ゼリア新薬 = **天然由来成分**で、**根本治療**を目指す

コルペルミン®製品研修

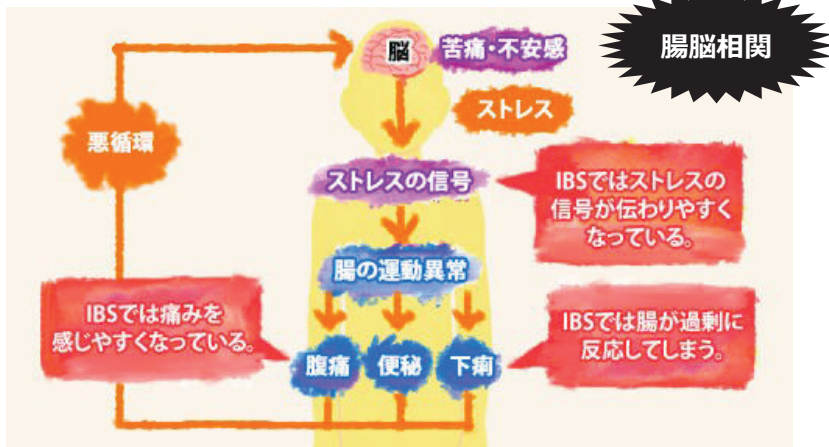
1. IBSについて
2. コルペルミンについて
3. コルペルミン販売方法
4. 生活者からの質問対応

「過敏性腸症候群(IBS)」とは

研修用資料
広告物としての使用はできません。

疾患情報

大腸や小腸に潰瘍や腫瘍などの器質的な病変がないにもかかわらず、下痢や便秘などの便通異常を伴う腹痛や腹部不快感が、慢性的にくり返される病気のこと



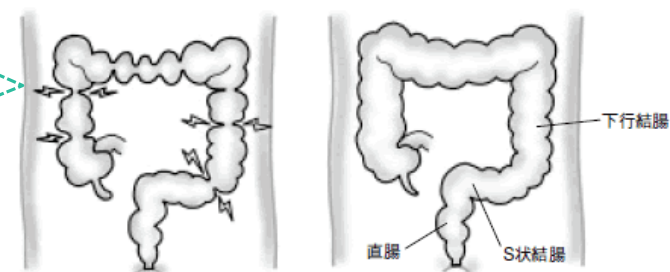
「過敏性腸症候群(IBS)」とは

研修用資料
広告物としての使用はできません。

疾患情報

(図) 過敏性腸症候群の腸(左)と正常な腸

腸管の異常収縮により、
内容物が高速で移動
→ **下痢**
腸管が閉鎖
→ **便秘**
上記がくり返される



■大腸全体が規則正しく、やわらかく膨らんでいる正常な腸に対し、過敏性腸症候群の腸は、やわらかさがなく、ところどころ不規則に収縮している

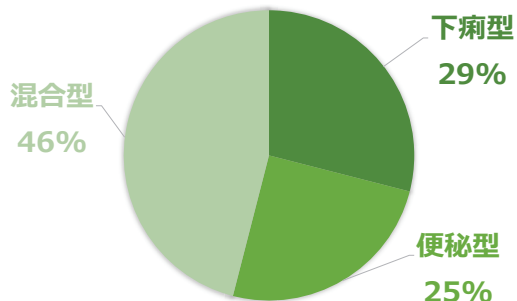
「過敏性腸症候群(IBS)」の疫学

研修用資料
広告物としての使用はできません。

疾患情報

国内有病率: 13.1%
↳ **男性: 10.7%**
↳ **女性: 15.5%**

推定有病者数
1,200万人



鳥居 明、診断と治療96(8), 221-230, 2008

「過敏性腸症候群(IBS)」の認知率

研修用資料
広告物としての使用はできません。

調査データ

Q. 「仕事や環境変化などストレスを感じるタイミングで、下痢や便秘になる」といった症状の原因にIBS、過敏性腸症候群という疾患があります。「IBS」または「過敏性腸症候群」という言葉をご存知ですか？
(対象: 「仕事や環境変化などストレスを感じるタイミングで、下痢や便秘になる」と回答した15-49歳男女 n=11,410)

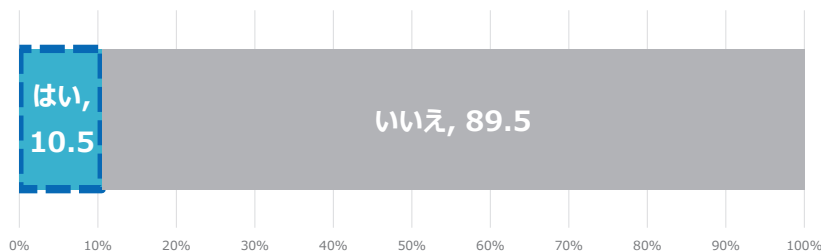
(%)		過敏性腸症候群		
		内容まで説明できる	言葉だけ知っている	知らない
IBS	内容まで説明できる	5.9	0.9	0.1
	言葉だけ知っている	5.5	13.6	0.7
	知らない	9.0	32.2	32.1

- IBS様症状がある人の「過敏性腸症候群」または「IBS」の認知率: **67.6%**
 - 「過敏性腸症候群」認知率: **67.1%**
 - 「IBS」認知率: **26.7%**
- 「過敏性腸症候群」の方がIBS有症者には浸透している!**

「過敏性腸症候群(IBS)」の診断率

調査データ

Q. あなたは「IBS、過敏性腸症候群」と医師から診断されたことはありますか？
(対象：「仕事や環境変化などストレスを感じるタイミングで、下痢や便秘になる」と回答した15-49歳男女 n=11,410)



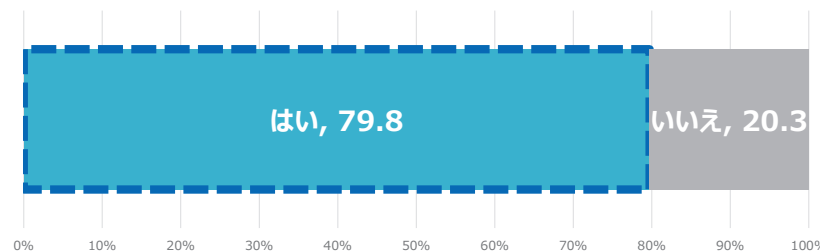
- IBS様症状がある人の過敏性腸症候群 (IBS) 診断率： **10.5%**

IBS有症者の**10人に1人**は
医師の診断を受けたことがある！

「過敏性腸症候群(IBS)」の再発率

調査データ

Q. 一度、過敏性腸症候群 (略称「IBS」) が治まった後に、また症状が出たこと (再発) はありますか？
(対象：「IBS、過敏性腸症候群」と医師から診断されたことがある」と回答した15-49歳男女 n=1,200)



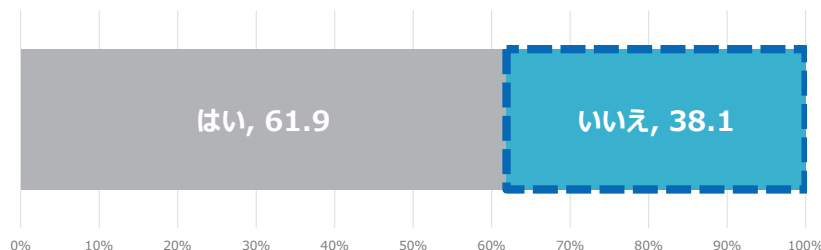
- IBSの診断を受けたことがある人の過敏性腸症候群 (IBS) 再発率： **79.8%**

IBS患者の**約80%**は
再発を経験！

過敏性腸症候群(IBS)再発時の受診率

調査データ

Q. 過敏性腸症候群 (略称「IBS」) が再発したとき、再度病院で受診をしましたか？
(対象：「一度、過敏性腸症候群 (略称「IBS」) が治まった後に、また症状が出たこと (再発) がある」と回答した15-49歳男女 n=957)



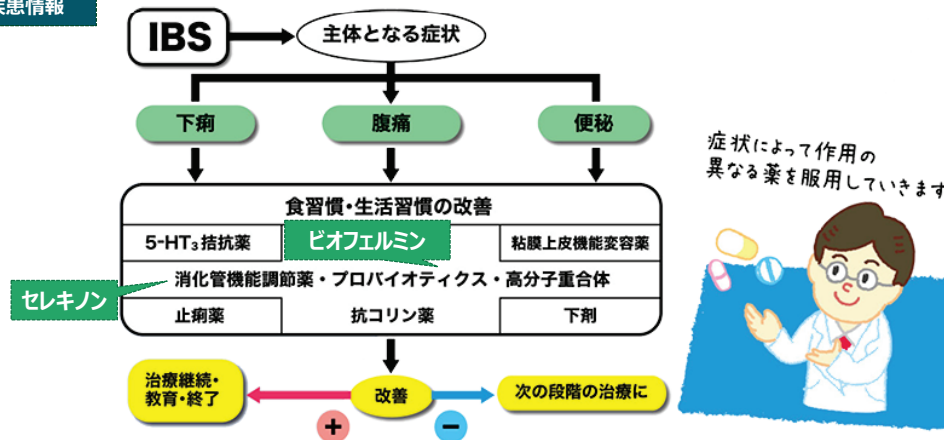
- IBS再発時の受診率： **61.9%**

➡ **受診離脱率：38.1%**

IBS再発時、**約4割**の
患者が再受診を断念！

「IBS」の治療法(医療機関)

疾患情報



第1段階の治療フローチャート

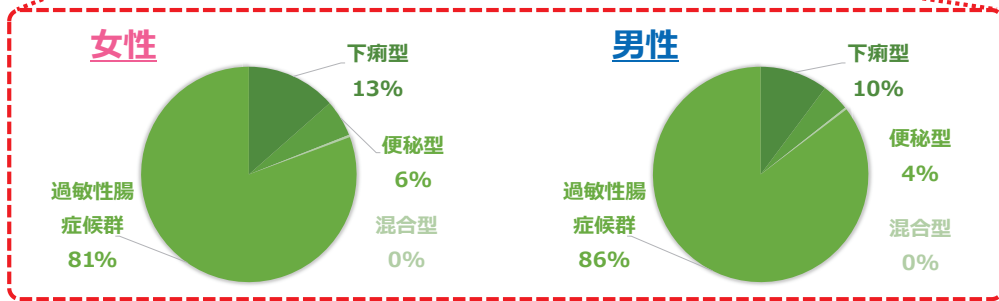
(「機能的消化管障害診療ガイドライン:過敏性腸症候群(IBS) 診療ガイドライン2014」より改変)

疾患情報

(単位:人)

	15歳未満	15-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計
女性	32,696	48,877	84,505	104,514	154,996	163,661	175,913	386,902	1,152,064
男性	40,478	51,588	70,285	86,178	120,489	135,923	152,858	269,734	927,533
総計	73,174	100,465	154,790	190,692	275,485	299,584	328,771	656,636	2,079,597

コルペルミン対象者: 約72万人



コルペルミン® 製品研修

1. IBSについて
2. コルペルミンについて
3. コルペルミン販売方法
4. 生活者からの質問対応

IBS改善薬「コルペルミン」

製品(スペック)



過敏性腸症候群

II

Irritable Bowel Syndrome
過敏な腸症候群

製品名	コルペルミン
分類	第2類医薬品 2026年8月に移行見込み
規格: 希望小売価格 (税込/税抜)	30カプセル (10日分): 2,618円 / 2,380円
効能・効果	過敏性腸症候群の次の諸症状の緩和: 腹痛又は腹部不快感を伴い、繰り返す又は交互に現れる下痢及び便秘 (以前に医師の診断・治療を受けた人に限る)
用法・用量	成人 (15歳以上): 1回1カプセル、1日3回 食前又は食間 15歳未満: 服用しないでください
有効成分	セイヨウハッカ油 (ペパーミントオイル)
サイズ	W94×H66×D30mm

世界で愛されるコルペルミン

製品(特徴)

- ◆ 効能・効果: 過敏性腸症候群の諸症状 (さしこみ、腸の痙攣、腹痛、鼓腸、膨満感などを含む)
- ◆ Tillotts Pharma AGにより開発され、英国ではColperminの販売名で1981年から販売されており、**40年以上**の歴史がある製品 (参考: ヘパリーゼは1979年に発売)
- ◆ **世界38カ国** (欧州、アジア、中南米など) で**一般用医薬品**として承認 (2020年時点)
- ◆ ペパーミントオイルを有効成分とする一般用医薬品において圧倒的なシェアを誇る
- ◆ 世界最大販売国イギリスの販売数は**年間約37百万カプセル (約1.2百万箱)** (2020年実績)

スイス



イギリス



ドイツ



製品(成分)

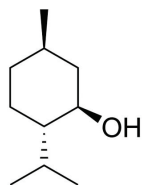


1万年以上前の遺跡から発見された 世界最古の薬

- 欧州においてギリシャ・ローマ期より薬草・香料として使用
- 中世の植物誌に「胃の不調に最適な薬草」とある
- 食欲不振、胃弱（消化不良）、吐き気及び食べ過ぎの上部消化管、**腹痛、腸痙攣（便秘）、腹部膨満感及び鼓腸の下部消化管の治療**に用いるほか、**胆汁流量増加作用**も

ペパーミントオイルの成分

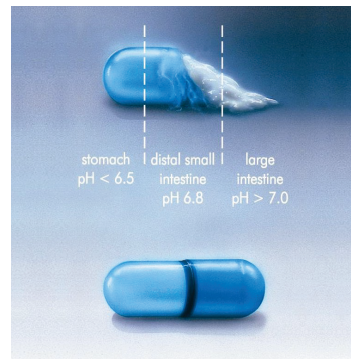
メントール、メントン、メンチル酢酸エステル、イソメントン、1,8-シネオール、メントフラン、リモネン、プレゴン、カルボン、イソプレゴール



製品(製剤)

腸溶性コーティングカプセル

- ◆ **下部小腸、大腸へ送達**
- ◆ **ペパーミントによる胸やけを予防**



食品でペパーミントを摂取しても胃で消化され、腸には届かない！

医薬品ならではの価値

薬理作用	症状	コルペルミン
腸管収縮抑制	腹痛	●
	便秘	●
	下痢	●
痛覚抑制	腹痛	●
駆風	腹痛	●
抗菌	腹痛	●
胆汁分泌促進	便秘	●
腸液分泌抑制	下痢	●
作用の数		6

コルペルミンは腸管運動の改善だけでなく、**痛みを抑え（痛覚抑制）、お腹の張りによる不快感を抑え（駆風）、増えがちな悪い腸内細菌を抑え（抗菌）、消化を助け（胆汁分泌促進）、下痢の要因も抑える（腸液分泌抑制）**作用が報告されています。

製品(製剤)

下部消化管ではたらく

西洋ハッカ油の作用機序は、細胞外から細胞内へのCa²⁺チャネルを介したCa²⁺流入を抑制することにより、**下部消化管平滑筋の収縮を抑制し（便秘の改善）、下部消化管平滑筋での腸液分泌を抑制する（下痢の改善）**と考えられています。

表1. 患者による治療効果（症状改善者の割合）

症状	本剤（52例）	プラセボ（49例）
腹痛	79 %*	43 %
腹部膨満感	83 %*	29 %
排便頻度	83 %*	33 %
腹鳴	73 %*	31 %
鼓腸	79 %*	22.5 %

*: p<0.05 vs プラセボ。

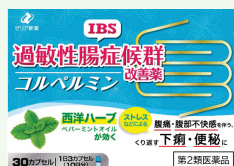
表2. 患者による全般改善効果（症状改善者の割合）

評価時期	全体	下痢型	便秘型	混合型
2週時	71.6 %	69.7 %	66.7 %	81.3 %
4週時	85.1 %	78.8 %	88.9 %	93.8 %

IBSのすべての型に効果を発揮！

製品(臨床) 副作用の発生頻度

国内臨床試験の副作用発現率は
約3%(2例/69例)となります。



※内容は、胃腸障害1件(呼気臭)、皮膚障害1件(湿疹)、免疫系障害1件(過敏症)で、いずれも重篤な副作用ではありませんでした。

製品(臨床) 症状改善率

		コルペルミン	
		4週	2週
改善度	腹痛(腹部疼痛)	79%	-
	腹部膨満感	83%	-
	腹鳴	73%	-
	排便回数	83%	-
全般改善度	全体	85%	72%
	下痢型	79%	70%
	便秘型	89%	67%
	混合型	94%	81%

日本人における臨床試験では
2週間で約**72%**(67例中48例)、
4週間で約**85%**(67例中57例)
の方に改善が認められています。
4週間後を症状別に見ると、
便秘型で約89%(18例中16例)、
下痢型で約79%(33例中26例)、
混合型で約94%(16例中15例)に
改善が見られています。

IBSのすべての型について、大部分の方に効果を発揮！

コルペルミン® 製品研修

1. IBSについて
2. コルペルミンについて
3. コルペルミン販売方法
4. 生活者からの質問対応

製品(販売方法)

チェックシートによる確認

- ① 過去にIBSの診断を受けたことがある
- ② IBSの再発以外の可能性の排除
↳ 大腸がん、炎症性腸疾患等の症状の有無
- ③ 副作用リスクの排除
↳ ペパーミントのアレルギー、無酸症、肝臓病、ほか
- ④ その他リスク要因の排除
↳ 妊娠・授乳、50歳以上、貧血、家族歴、ほか

➔服用OK

お客様用リーフで服用方法を説明



薬剤師による
対面指導



添付文書「してはいけないこと」①(3)~(12)の対象者がどうして服用できないのでしょうか？

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

① 次の人は服用しないでください

- | | |
|--|---|
| (1) 医師から過敏性腸症候群の診断・治療を受けたことがない人。 | (8) 急性の激しい下痢がある人。 |
| (2) 過敏性腸症候群の再発かどうかよくわからない人(例えば、今回の症状は、以前に過敏性腸症候群の診断・治療を受けた時と違う)。 | (9) 排便によってよくならない腹痛がある人。 |
| (3) 就寝中などの夜間にも、排便のためにトイレに行きたくなったり、腹痛がある人。 | (10) 嘔吐がある人。 |
| (4) 発熱がある人。 | (11) 6カ月以内に、体重が3kg以上、予期せず減少した人。 |
| (5) 関節痛がある人。 | (12) 次の病気がかかったことのある人。
大腸がん、炎症性腸疾患(クローン病、潰瘍性大腸炎等) |
| (6) 粘血便(下血)がある人。 | (13) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。 |
| (7) 繰り返しひどい下痢がある人。 | (14) 著しく胃酸が少ない状態が持続する人(無酸症)。 |
| | (15) 医療機関で次の治療を受けている人。
肝臓病、胆管閉塞、胆のう炎 |

② 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください

過敏性腸症候群(IBS)の症状改善薬、制酸剤

③ 服用前後は飲酒しないでください



大腸がん、炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病等)等の他疾患との鑑別を行うために設定しています。該当する場合は、必要に応じて受診勧奨するようお願いいたします。

- | | |
|---|---|
| (3) 就寝中などの夜間にも、排便のためにトイレに行きたくなったり、腹痛がある人。 | (8) 急性の激しい下痢がある人。 |
| (4) 発熱がある人。 | (9) 排便によってよくならない腹痛がある人。 |
| (5) 関節痛がある人。 | (10) 嘔吐がある人。 |
| (6) 粘血便(下血)がある人。 | (11) 6カ月以内に、体重が3kg以上、予期せず減少した人。 |
| (7) 繰り返しひどい下痢がある人。 | (12) 次の病気がかかったことのある人。
大腸がん、炎症性腸疾患(クローン病、潰瘍性大腸炎等) |

コルペルミン®製品研修

1. IBSについて
2. コルペルミンについて
3. コルペルミン販売方法
4. 生活者からの質問対応

Q1. コルペルミンの名前の由来を教えてください。

A1 コルは英語で”colon=大腸“、
ペルミンも英語で”peppermint:ペパーミント”
に由来します。

※colonは正確には“結腸”を指します。

Q2 成分がペパーミントオイル(セイヨウハッカ油)ならば、
ハッカ油食品を食べれば効果が得られるのではないのでしょうか？

A2 IBSは大腸で起きる症状ですから、ペパーミントオイルが胃や小腸
上部で吸収されてしまうと効果を発揮しにくくなります。
(主成分のメントールは吸収されると速やかに代謝を受け、効果を失います)
また、ペパーミントオイルが胃内で放出されると胸やけを起こす可能性
もあります。そこで腸溶カプセルにして、下部消化管への分布が長時間
継続するように製剤工夫をした医薬品が「コルペルミン」になります。

※食前・食間服用は胃内酸性度が下がる食後避けるためです。

Q3 効能効果に「以前に医師の診断・治療を受けた人に限る」と
あります。正確な解釈を教えてください。

A3 胃腸症状で医師にかかり、「IBSですね」と診断を受けた人のこ
とです。診断書や内視鏡診断の必要はありません。
「口頭で言われた」という自己申告で構いません。



Q4 効能効果に「以前に医師の診断・治療を受けた人に限る」とあり
ます。医者に掛かっている方にお勧めするメリットは何でしょうか？

A4 IBSの症状は主に腹痛・下痢・便秘ですが、単独だけではなく、胃
痛は同時、下痢・便秘は入れ替わりに起きることがあります。コルペ
ルミンは腸管運動の改善だけでなく、痛みを抑え(痛覚抑制)、お腹の
張りによる不快感を抑え(駆風)、増えがちな悪い腸内細菌を抑え(抗
菌)、消化を助け(胆汁分泌促進)、下痢の要因も抑える(腸液分泌抑
制)ので、多面的な効果を期待できます。

コルペルミンをよろしくお願いいたします。